

## ニュージーランドティマル市と北海道恵庭市の交流経過

### <ニュージーランドとの交流のはじまり>

恵庭市とニュージーランドとの交流は、1991（平成 3）年に恵庭市民が庭園都市として有名なクライストチャーチ市を視察したことにはじまります。このとき、視察に参加した人たちが帰国後、いろいろな機会にクライストチャーチ市の美しさを報告したことが後の恵庭市の花のまちづくりの原動力になり、今では恵庭市は全国的にも知られるガーデニング・花のまちとなりました。

### <ティマル市と姉妹都市締結に至る経緯>

ティマル市との交流は、2001（平成 13）年に恵庭商工会議所が海外との産業交流先をティマル市に選定したのを機に始まります。選定基準は、①ガーデニングが盛んでまちの景観が良い、②環境問題に取り組んでいる、③まちの規模が似ている、④経済交流の可能性がある、⑤日本との交流を強く希望している、という5点でした。両市の商工会議所の相互交流がはじまり、各種シンポジウムの開催、中高生による青少年国際交流派遣事業の推進、アンテナショップの開設など数々の交流実績を積み上げて来ました。本市とティマル市は、花とガーデニングを基調とし、「水・緑・花」といった自然との調和をテーマとしたまちづくりを進めるなど、共通するものがありました。

このような交流実績から機運が高まったとして、2007（平成 19）年5月に恵庭ニュージーランド協会外3団体より姉妹都市締結の要望書の提出があり、さらにティマル市からも要請があったことから、2008（平成 20）年2月の姉妹都市締結に至りました。



調 印 日 2008（平成 20）年 2 月 13 日

調印場所 ティマル市（市議会議場）

調印内容

日本とニュージーランド両国国民の相互理解と友好を深めるとともに、日本国北海道恵庭市とニュージーランド国ティマル市の親善交流と協力関係を促進、発展させるために、日本とニュージーランド両国国民の外交関係の体制の下、共同公式発表の基本方針に基づいた活動を行い、協議を通して姉妹都市の理念に基づいた良好で友好的な関係を公式に確立することに同意する。



### <主な交流経緯>

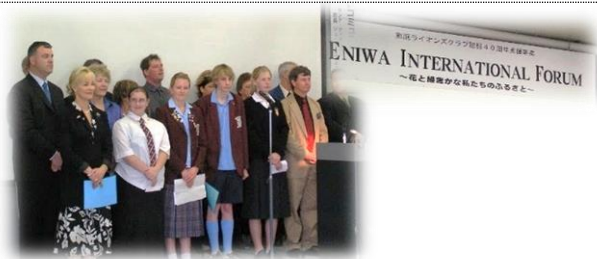
#### （経済団体・行政による交流）

平成 13 年 1・6 月	恵庭商工会議所が海外との産業交流先選定のためニュージーランド諸都市を視察し、ティマル市を選定。
平成 13 年 7 月	「生涯学習国際シンポジウム in えにわ」出席のため、ティマル市長他 6 名が来恵。
平成 14 年 1 月	「産業交流視察研修」訪問団（22 名）がティマル市を訪問。
平成 14 年 11 月	「ミニ LL 事業」訪問団（10 名）がティマル市を訪問。
平成 15 年 2 月	「産業交流国際シンポジウム in えにわ」出席のため、ティマル商工会議所会頭他 2 名が来恵。
平成 15 年 10 月	「産業交流セミナー」出席のため、アオラキ地方経済開発局長等が来恵。
平成 16 年 1 月	「産業交流調査団派遣事業」訪問団（9 名）がティマル市を含むサウスカンタベリーを訪問。
平成 16 年 7 月	「ガーデニング講演会」出席のため、ブリックス夫妻（2 名）が来恵。

平成 17 年 2 月 「ニュージーランド視察」訪問団（恵庭ニュージーランド協会会長他 3 名）がティマル市訪問。

---

平成 17 年 6 月 「恵庭国際フォーラム」出席のため、ティマル市長他 10 名が来恵。



平成 18 年 1 月 「ティマル製品調査」のため恵庭商工会議所会頭他 4 名がティマル市訪問。

---

「ティマルショップ（道と川の駅花ロードえにわ内）」オープンセレモニー出席のため、ティマル市副市長、ティマル商工会議所会頭が来恵。

平成 18 年 6 月



ニュージーランド及びティマル製品販売の様子

平成 18 年 8 月 「えにわショップ取扱い製品調査」のため、ティマル商工会議所会頭他 1 名が来恵。

---

平成 18 年 9 月 「ニュージーランド姉妹都市訪問」のため、ニュージーランド姉妹都市委員が来恵。

---

平成 19 年 4 月 「えにわショップ」オープンセレモニー出席のため、副市長他 3 名ティマル市訪問。

---

平成 20 年 2 月 「姉妹都市締結」調印式出席のため、市長他 15 名がティマル市訪問。

---

「姉妹都市締結調印セレモニー」出席のため、ティマル市長他 10 名が来恵。

平成 20 年 6 月



平成 21 年 1 月 「ティマル市成立 150 周年記念事業」出席のため市議会議長他 2 名がティマル市訪問。

---

平成 21 年 11 月 「ローズフェスティバル」視察のため、市民 3 名・市職員 1 名がティマル市訪問。

---

平成 22 年 2 月 「北海道産品モニタリング並びにニュージーランドマーケットリサーチ」のため、商工会議所職員 1 名がティマル市訪問。

---



「恵庭ニューージーランド協会・恵庭商工会議所」訪問団（15 名）がティマル市訪問。

平成 23 年 1 月



平成 25 年 2 月

「恵庭・ティマル友好商工会議所、恵庭ニューージーランド協会設立 10 周年記念」訪問団（13 名）がティマル市訪問。

平成 26 年 6 月

ティマル市長他 8 名が来恵。  
「花とくらし展」等を視察。



平成 26 年 7 月 1 日 災害時相互応援に関する覚書締結。



平成 30 年 2 月

「姉妹都市締結 10 周年記念式典」出席のため、市長他 11 名がティマル市訪問。



「姉妹都市締結 10 周年記念式典」出席のため、ティマル市長他 10 名が来恵。

平成 30 年 7 月



「恵庭ニューージーランド協会 青少年国際交流派遣事業」の随行でティマル市副市長スコット・シヤノン氏ご夫妻来恵（花とくらし展など視察）。

令和 5 年 6 月



「恵庭ニューージーランド協会 青少年国際交流派遣事業」の随行でティマル市長ナイジェル・ボウエン氏ご夫妻来恵（市内公共施設や学校など視察）。

令和 7 年 6 月



### （青少年交流）

- 平成 15 年～ 「青少年国際交流派遣事業」 毎年学生 3 名、随行者 1 名を派遣。  
 平成 16 年～ 「青少年国際交流受入事業」 毎年学生 3 名、随行者 1 名を受入。  
 平成 18 年～ 隔年でオピヒ高校「日本語研修」を受入。

<令和 7（2025）年 11 月現在>

事業名	頻度	人数	累計人数
青少年国際交流派遣事業 (H15 年～)	毎年	学生 3 名程度 随行者 1 名	78 名（うち学生 60 名）
青少年国際交流受入事業 (H16 年～)	毎年	学生 3 名程度 随行者 1 名	83 名（うち学生 57 名）
オピヒ高校「日本語研修」 (H18 年～)	隔年	学生 8 名程度 随行者 1 名	62 名（うち学生 54 名）



## （文化交流）

- 平成 20 年～ 図書交流開始。（毎年、両市図書館で絵本等を相互贈呈）
- 平成 23 年 7 月 サウスカンタベリー博物館主催で、恵庭市郷土資料館学芸員がティマル市民向けに恵庭の歴史概要を講演。
- 平成 26 年～ 美しいまちづくり恵庭ネットワークによる、児童の絵画作品の交流開始。



（令和 7 年 11 月現在）